

廃棄物の造粒化

支援の背景

沖縄県における産業廃棄物の管理型最終処分場は非常に逼迫した状況にあり、産業界だけでなく一般の県民生活にまで影響が出てきています。そこで、管理型最終処分場の延命化を図るために焼却灰等の廃棄物を造粒し、土木資材等としてリサイクルするため、沖縄県環境管理センター協同組合より当センターへ共同研究の依頼がありました。

支援内容

- ①造粒化への製造条件、安全性等について技術指導を行いました。
- ②造粒体、試作コンクリート二次製品の評価試験を行いました。
- ③沖縄県リサイクル資材認定制度の認定取得に関してアドバイスをしました。



造粒体



コンクリート二次製品

支援の成果

本共同研究にて開発した造粒体（再生資源含有路盤材）は、平成18年11月付けで、「造粒再生砕石（RC-40）」の名称にて沖縄県リサイクル資材認定制度の認定を取得致しました。